

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公開番号】特開2009-6046(P2009-6046A)

【公開日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2009-002

【出願番号】特願2007-172140(P2007-172140)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月10日(2010.6.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

変動開始条件の成立により、図柄の変動表示が行われる図柄表示手段を備え、
図柄が停止したときの停止図柄が当たりを示す組み合わせとなったときに当たり遊技が実行される遊技機であって、

遊技領域を流下する遊技球を受け入れうる第 1 受入口と、

前記第 1 受入口への遊技球の受け入れに基づいて第 1 始動情報を抽出する第 1 始動情報抽出手段と、

前記第 1 始動情報抽出手段によって抽出された第 1 始動情報を第 1 の上限値まで記憶する第 1 始動情報記憶手段と、

前記変動開始条件が成立したときに、前記第 1 始動情報記憶手段によって記憶される第 1 始動情報についての当落を記憶された順の一つずつ判定する当落判定手段と、

前記図柄を変動させ、前記停止図柄の組み合わせによって前記当落判定手段による判定結果が表示されるように制御する図柄表示制御手段と、

前記停止図柄が当たりを示す組み合わせとなったときに、遊技球の入賞が許容されうる可変入賞口と、

少なくとも前記可変入賞口への遊技球の入賞に基づいて所定量の賞球を遊技者に付与する賞球付与手段と、

前記停止図柄が当たりを示す組み合わせで表示されたとき、前記可変入賞口への遊技球の入賞を許容する当たり遊技を実行する当たり遊技実行手段と、

前記当たり遊技実行手段による当たり遊技の終了後の遊技状態を、前記当落判定手段によって当たりと判定される確率が相対的に高い特別遊技状態、又は、前記当落判定手段によって当たりと判定される確率が相対的に低い通常遊技状態に制御可能な遊技状態制御手段とを備える遊技機であって、さらに、

前記第 1 受入口の上方に配置され、前記遊技領域を流下する遊技球を受け入れうる第 2 受入口と、

前記第 2 受入口への遊技球の受け入れに基づき、第 2 始動情報を抽出する第 2 始動情報抽出手段と、

前記第 2 始動情報抽出手段によって抽出された第 2 始動情報を第 2 の上限値まで記憶す

る第2始動情報記憶手段とを備え、

前記当落判定手段は、前記変動開始条件が成立したときに、前記第1始動情報についての当落又は前記第2始動情報記憶手段に記憶される第2始動情報についての当落を選択的に判定可能になっており、

前記図柄表示制御手段は、前記遊技状態制御手段にて遊技状態が前記特別遊技状態に制御されることを遊技者が連想しうる態様の図柄である特定図柄、及び、前記遊技状態制御手段にて遊技状態が前記通常遊技状態に制御されることを遊技者が連想しうる態様の図柄である非特定図柄を変動表示可能であり、

前記遊技状態制御手段は、前記当たりを示す組み合わせのうち、少なくとも前記特定図柄による所定の組み合わせが表示されたとき、当たり遊技終了後の遊技状態を前記特別遊技状態に制御し、

前記当たり遊技実行手段は、

前記当落判定手段による前記第2始動情報についての当落の判定結果が当たりであるとき、

前記停止図柄が前記所定の組み合わせで表示された場合に、多量の遊技球を賞として遊技者に付与すべく前記可変入賞口への遊技球の入賞が容易化される大賞当たり遊技を実行すると共に、

前記停止図柄が前記所定の組み合わせ以外の組み合わせで表示されたときは、遊技球が辛うじて入賞しうる態様で前記可変入賞口が作動する小賞当たり遊技を実行可能に構成されており、

前記図柄表示制御手段は、

前記遊技状態制御手段によって遊技状態が前記通常遊技状態に制御されているときには、前記特定図柄のみの変動表示を行うことにより、前記停止図柄の所定の組み合わせを、常に、前記特定図柄による所定の組み合わせで表示すると共に、

前記小賞当たり遊技への当選を察知困難とするよう、前記所定の組み合わせ以外の組み合わせを、ハズレであることを想起させ易い組み合わせで表示する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記図柄表示制御手段は、

前記遊技状態制御手段によって遊技状態が前記通常遊技状態に制御されているときには、前記非特定図柄を、当該非特定図柄に対応する特定図柄として変動表示する

請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記図柄は、特定数が付された特定図柄、及び、非特定数が付された非特定図柄からなっており、

前記図柄表示制御手段は、

前記遊技状態制御手段によって遊技状態が前記通常遊技状態に制御されているときには、前記非特定数が付された前記非特定図柄を、非特定数が付された特定図柄として変動表示する

請求項2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の遊技機は、変動開始条件の成立により、図柄の変動表示が行われる図柄表示手段を備え、図柄が停止したときの停止図柄が当たりを示す組み合わせとなったときに当たり遊技が実行される遊技機であって、遊技領域を流下する遊技球を受け入れうる第1受入口と、前記第1受入口への遊技球の受け入れに基づいて第1始動情報を抽出する第1始動

情報抽出手段と、前記第1始動情報抽出手段によって抽出された第1始動情報を第1の上限値まで記憶する第1始動情報記憶手段と、前記変動開始条件が成立したときに、前記第1始動情報記憶手段によって記憶される第1始動情報についての当落を記憶された順に一つずつ判定する当落判定手段と、前記図柄を変動させ、前記停止図柄の組み合わせによって前記当落判定手段による判定結果が表示されるように制御する図柄表示制御手段と、前記停止図柄が当たりを示す組み合わせとなったときに、遊技球の入賞が許容されうる可変入賞口と、少なくとも前記可変入賞口への遊技球の入賞に基づいて所定量の賞球を遊技者に付与する賞球付与手段と、前記停止図柄が当たりを示す組み合わせで表示されたとき、前記可変入賞口への遊技球の入賞を許容する当たり遊技を実行する当たり遊技実行手段と、前記当たり遊技実行手段による当たり遊技の終了後の遊技状態を、前記当落判定手段によって当たりと判定される確率が相対的に高い特別遊技状態、又は、前記当落判定手段によって当たりと判定される確率が相対的に低い通常遊技状態に制御可能な遊技状態制御手段とを備える遊技機であって、さらに、前記第1受入口の上方に配置され、前記遊技領域を流下する遊技球を受け入れうる第2受入口と、前記第2受入口への遊技球の受け入れに基づき、第2始動情報を抽出する第2始動情報抽出手段と、前記第2始動情報抽出手段によって抽出された第2始動情報を第2の上限値まで記憶する第2始動情報記憶手段とを備え、前記当落判定手段は、前記変動開始条件が成立したときに、前記第1始動情報についての当落又は前記第2始動情報記憶手段に記憶される第2始動情報についての当落を選択的に判定可能になっており、前記図柄表示制御手段は、前記遊技状態制御手段にて遊技状態が前記特別遊技状態に制御されることを遊技者が連想しうる態様の図柄である特定図柄、及び、前記遊技状態制御手段にて遊技状態が前記通常遊技状態に制御されることを遊技者が連想しうる態様の図柄である非特定図柄を変動表示可能であり、前記遊技状態制御手段は、前記当たりを示す組み合わせのうち、少なくとも前記特定図柄による所定の組み合わせが表示されたとき、当たり遊技終了後の遊技状態を前記特別遊技状態に制御し、前記当たり遊技実行手段は、前記当落判定手段による前記第2始動情報についての当落の判定結果が当たりであるとき、前記停止図柄が前記所定の組み合わせで表示された場合に、多量の遊技球を賞として遊技者に付与すべく前記可変入賞口への遊技球の入賞が容易化される大賞当たり遊技を実行すると共に、前記停止図柄が前記所定の組み合わせ以外の組み合わせで表示されたときは、遊技球が辛うじて入賞しうる態様で前記可変入賞口が作動する小賞当たり遊技を実行可能に構成されており、前記図柄表示制御手段は、前記遊技状態制御手段によって遊技状態が前記通常遊技状態に制御されているときには、前記特定図柄のみの変動表示を行うことにより、前記停止図柄の所定の組み合わせを、常に、前記特定図柄による所定の組み合わせで表示すると共に、前記小賞当たり遊技への当選を察知困難とするよう、前記所定の組み合わせ以外の組み合わせを、ハズレであることを想起させ易い組み合わせで表示することを特徴とする。